

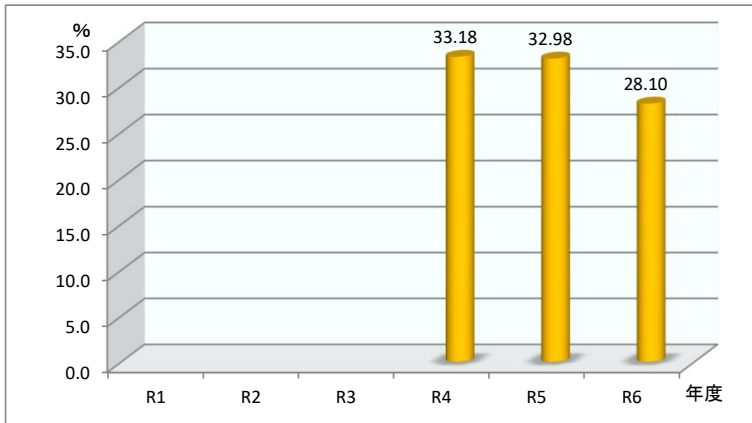
## 72 一般病棟の重症度、医療・看護必要度Ⅱ

### 解説

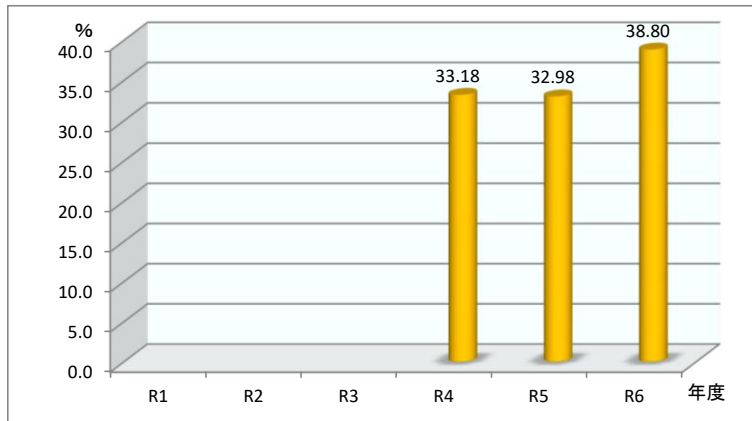
一般病棟における重症度及び、医療並びに看護の必要度を評価する指標です。急性期に密度の高い医療を必要とする状態であることを示しているため、この指標が高い医療機関は急性期医療に貢献していると考えられます。大学病院が急性期医療を担っていることをあらず指標になりますが、診療科の構成(外科は高くなりがち)やICUの病床数等にも影響を受けるので、目安の一つとして捕らえる必要があります。

### 実績

#### 【基準1】



#### 【基準2】



### 自己点検評価

- 【基準1】・・・ 今年から収集をはじめた指標です。  
【基準2】・・・ 今年から収集をはじめた指標です。

### 定義

一般病棟の重症度、医療・看護必要度です。次の式で算出します。  
(該当患者延数) ÷ (一般病棟在院患者延数)  
令和6年度報酬改訂により、令和6年6月からは2基準について集計しています。

※令和5年度までのデータは、各月の一般病棟の重症度、医療・看護必要度(%)を平均したものを参考値として掲載しています。

### 算式

分子: 該当患者延数  
分母: 一般病棟在院患者延数